

豊島区立トキワ荘マンガミュージアム 特別企画展
「マンガ家 水野英子展 -その一筆が、マンガを変えた。-」
【開催期間:令和 8 年 12 月 5 日～令和 9 年 3 月 22 日】



©水野英子

豊島区は、トキワ荘マンガミュージアムにて、令和 8 年 12 月 5 日(土)から、特別企画展「マンガ家 水野英子展 -その一筆が、マンガを変えた。-」を開催します。

マンガの黎明期、自らが描きたい世界を追い求め、マンガ表現の可能性を切り拓いたマンガ家・水野英子は「世界の名作文学に匹敵するような作品をマンガで描きたい」という信念のもとに物語を生み出し、のちにマンガ家となる多くの読者にも影響を与えました。

本展では、水野がマンガ家としてデビューするきっかけとなった幻の作品『赤い子馬』の直筆原稿や、初期から後期までの 70 年以上にわたる数々の作品資料を展示し、水野英子の創作の歩みと、その表現の魅力を紹介します。また、デビュー直後の一時期を過ごしたトキワ荘時代の作品や、石ノ森章太郎、赤塚不二夫ら同世代のマンガ家たちとの交流を通じ、互いに刺激を受けながら創作を深めた軌跡をたどります。

開催にあたり区の担当者は、『『男性マンガ家が主だった時代に様々な分野の作品にタブーを破って挑み続けた』と言う水野先生。女性マンガ家活躍の先駆者となったそのパワーを感じていただきたいです』と話します。

※「石ノ森章太郎」の「ノ」の字は 55%縮小表記

【水野英子(みずの ひでこ)プロフィール】

1939年、山口県下関市生まれ。幼い頃に手塚治虫の『漫画大学』に衝撃を受け、マンガ家を志す。1955年に『少女クラブ』でデビュー。1958年にトキワ荘に入居し、石ノ森章太郎、赤塚不二夫ら同世代のマンガ家たちと交流を深めた。トキワ荘に居住した唯一の女性マンガ家としても知られている。ファンタジーロマン、歴史物、音楽を題材とした作品など幅広いジャンルに挑戦し、豊かな物語性と華麗な画面表現によって独自の作品世界を築いた。代表作に『星のたてごと』『白いトロイカ』『ファイヤー!』等がある。

■トキワ荘マンガミュージアム 特別企画展「マンガ家 水野英子展 -その一筆が、マンガを変えた。-」概要

会場:豊島区立トキワ荘マンガミュージアム(豊島区南長崎 3-9-22)

開催期間:令和 8 年 12 月 5 日(土)～令和 9 年 3 月 22 日(月・振休)

休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12 月 28 日～1 月 4 日)

開催時間:午前 10 時～午後 6 時(入場は午後 5 時 30 分まで)

特別観覧料:大人 500 円、小中学生 100 円(グッズ付き)、

未就学児・障害者手帳をご提示の方及び介助者(1 名まで)無料

主催:豊島区、後援:公益財団法人としま未来文化財団、協力:トキワ荘協働プロジェクト協議会

企画制作:手塚プロダクション

■メインビジュアルを掲載する場合は、必ず©の表記もお願いします。

■トキワ荘通り昭和レトロ館連携企画展「水野英子のすてきな冒険」～作品世界でたどる創作の軌跡～ 開催概要

会場:トキワ荘通り昭和レトロ館(豊島区立昭和歴史文化記念館)1F 多目的室 1 (豊島区南長崎 3-4-10)

入場料:無料

主催:豊島区、企画・制作:特定非営利活動法人 日本マンガ・アニメトキワ荘フォーラム

※開催期間、開催時間、休館日はトキワ荘マンガミュージアム 特別企画展と同じです。